

初心者はスピードが変えられる変速タイプが使いやすくて便利

電動ドリル



木材、金属の穴あけを得意とするタイプ。木材用ドリルビットは6mm以上なので木材や壁材などの6mm以下の穴あけは金工用ドリルビットを使って下さい。

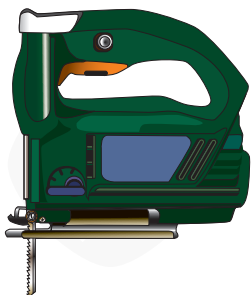
電動インパクトドライバー



穴あけ、ネジの締めゆるめが女性でもできます。長いビスでも素早く簡単にあまり力を入れずに打ち込めます。ビットをビスの頭に当て、スイッチを握ると回転しますので、そのまま少し

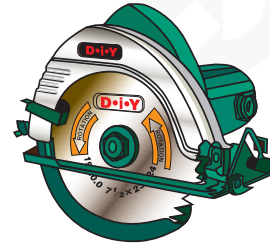
身体全体で押すようにしながら打ち込んでいきます。ビスの頭をつぶさず、握りでスピード調整が自由に行える高速タイプなのであまり失敗しません。

ジグソー



曲線や板を切り抜くときに便利。板に図形を鉛筆で描き、それに沿ってあわてずに切っていきます。円や曲線はこのジグソーで切ると思いのままです。

電動丸のこ



切る板の厚さより1cmほど出るぐらいに刃先を調節します。刃が多く出ていると切り口がきたなくなります。

丸のこの刃は厚いので切断しようとする

と、この厚み分だけ小さくなってしまいうので線に沿って、線を残すようにして切るのがコツです。スイッチを入れて、1,2秒で刃の回転が最高になるので、それから切り始めます。慌てないでゆっくりと進めてください。そうしないと木の筋があった場合、反動で丸のこが押し戻されて思わぬけがをする場合があります。

サンダー



両手で持って、あまり力を入れなくて軽く押してサンディングしていきます。縦方向、横方向ともまんべんなくかけましょう。

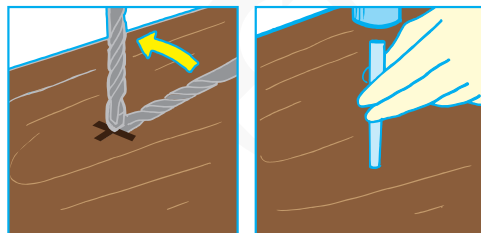
サンドペーパーはまず荒目、そして中目、最後に仕上げとして細目と順序良く使いま

しょう。ときどき作業をやめて完全に停止してから、サンドペーパーをはたいて目詰まりを取ってください。接着剤やペンキはよく乾燥させてからサンディングしてください。必ず防塵マスクや防塵眼鏡をかけて作業してください。

木に穴をあける

- ①位置決め
- ②ビット選び

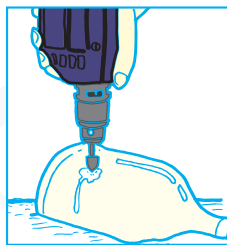
6m/m以下の穴の場合は穴をあける位置に×印をつけ、



金工用ビットを斜めにしてその位置に先端を当て、そのまま垂直にしてスイッチを握るとあけられます。硬い木の場合はあらかじめセンターポンチで穴の位置に打っておきます。木工用ビット(6m/m以上)の場合はそのまま穴あけができます。

ガラスや陶器に穴をあける

コンクリート用かガラス用ビットを使い、穴をあける部分に紙を貼り、ドリルビットに切削油をつけながら、低速回転で少しずつあけていきます。少しあけたら水をつけてドリルの尻を振るようしながら穴をあけていきます。

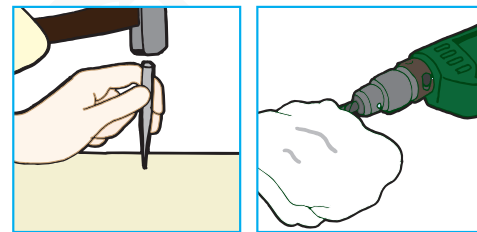


出てくるガラスの白い粉が水に濡れている状態にしておかないと、ガラスが熱で割れてしまいます。瓶の穴あけの場合は下に砂を敷いて作業すると瓶が固定できて安全です。

ガラスの穴あけの場合、回転速度は遅い方がきれいでできて割れにくいでしょう。

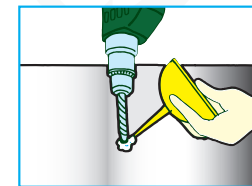
プラスチックに穴をあける

少し厚い板だとビットの先端が加熱して周囲を溶かしてしまつて正確な穴あけができません。したがってプラスチックの場合は少しあけては中止し、水でぬらしたボロ布でビットを冷やしてまた始めるようにしていきます。ビットは金工用を使います。



金属に穴をあける

まず先端が滑らないように、穴をあける位置にセンターポンチを打ちます。厚い鉄板の穴あけの時は油をつけながら作業しましょう。切り屑は鋭利になっているので怪我をしないよう、手で払わずハケで除きましょう。薄い金属板に円錐ドリルを使って穴をあける時は、必ずペンチやフライヤ等でつかんで作業しましょう。手で持っているると板がドリルと一緒に回転する危険があります。



コンクリートに穴をあける

振動ドリルにコンクリート用ビットをつけて穴あけします。手に振動が伝わりますので強く握り、身体全体で押し込むようにしながら穴をあけていきます。

